

企業誘致のための戦略的集団を！



塩田 等 議員

アンテナを高く、情報収集をしつかり行う体制を整備し、それを企業誘致に結びつけることができる戦略的な集団が必要と思うがどうか。

市長 的確な情報を集め、それをタイムリーに生かしていくことが大切だと思う。私自身も新聞記者時代に培った人脈を生かし、足利を売りに込むための、そしてチャンスをつかんでくるための営業活動をしていきたい。

問 将来を担う子供たちを事件・事故から守るためには、強い決意で安全対策に取り組まなければならない。登下校時における対策の現状を聞きたい。また、通学路交通安全プログラムの策定により、交通安全対策の充実が期待されるがどうか。

質問・議案質疑から

12議員が、一般質問を行いました。

連携し、通学路の安全確保に努めている。また、不審者対策として防犯ブザーの配布や不審者情報メールの配信などを行っている。今年度通学路交通安全プログラムを策定し、より効果的、効率的な通学路の整備を図りたい。



▲通学路の交通安全対策の様子

問 スポーツ少年団は、県内で本市以外すべての市町にあり、本市からも多くの選手が登録している。「足利の子は足利で育てる」を実現するために創設すべきではないか。

教育次長 スポーツ少年団への加入により、大会への出場機会もふえ、体力、技術の向上や社会活動の場も提供できるが、一方で送迎や経済的負担もふえるとの話もある。創設については小学校体育連盟や体育協会など関係団体の意見も踏まえ、慎重に検討していきたい。

市長任期と総合計画のありべき方向性は！



栗原 収 議員

問 市長の選挙公約を総合計画に生かすためには、市長任期と計画期

間を整合すべきではないか。また、同計画と議会との関係性についてはどのように考えているのか。

市長 平成33年の市政100周年を大きな契機と捉え、次期総合計画を平成28年から6年間とし、さらにその次の総合計画から市長任期の4年を単位とする。また、総合計画は市政運営の方向性、将来像を示す重要な計画であることから、条例による議決の担保も有効な手法として検討していきたい。

問 中心市街地への誘客策として、映画「バンクーバーの朝日」のロケセットの一部移設や、空き店舗を活用した衣装やパネルの展示を行うことはどうか。

政策推進部長 オープンセットの所有権は制作会社にあり、移設には調整が必要だが、まちなかの回遊や活性化のため、衣装の展示や回遊マップの作成なども含め検討したい。



▲映画「バンクーバーの朝日」のオープンセット (映画は12月に全国ロードショー)

一般質問・議案質疑の項目

(質問順)

塩田 等 議員

- 人口問題と将来ビジョンについて
- ・本市の人口減少に対する認識
- ・日本創成会議の将来予測に対する所見

○教育行政について

- ・教育制度改革
- ・児童生徒の安全対策

○スポーツ少年団の創設について

- ・スポーツ少年団の現状
- ・スポーツ少年団創設に対する考え方

○骨髄移植における本市独自の助成制度について

- ・ドナー支援助成制度の導入

栗原 収 議員

○次期総合計画について

- ・基本方針
- ・次期総合計画と細部計画等との整合

○観光振興について

- ・観光協会法人化による展望等
- ・「映像のまち」構想からのアプローチ
- ・シティブロモーションからのアプローチ

○市民活動支援について

- ・地域コミュニティと新しい関係づくり
- ・災害ボランティアグループの活用

市政について一般

9月8・9・10日の3日
から質疑展開

問 本市が被災した場合のボランティアの受け入れや、他市で大規模災害が発生した場合のボランティアの派遣について、どのように計画するのか考え方を聞きたい。

生活環境部長 足利市地域防災計画の中に災害ボランティアの活動支援計画が位置づけられており、この具現化に向けた先進事例の収集等に努めている。また、本市ボランティアの派遣についても、今後活動計画の中に位置づけていきたい。



杉田 光 議員

道の駅の早期実現を！

問 道の駅は本市の重要な施策の推進に寄与することから、早期に実現すべきであると考え、道の駅が本市にもたらす波及効果をどのように分析しているのか。

政策推進部長 道の駅を新たな情報発信の拠点として活用することに

より、立ち寄った人が再び市内の観光施設へ訪れるきっかけづくりになる。また、メディアに取り上げられることにより、市のイメージアップにもつながると考える。

問 本市南部の県町・羽刈町において、新産業用地開発を取り組むに至った経緯、考えを聞きたい。

市長 新産業用地の開発に当たっては、企業が最も重視する交通アクセスにおいて、河南地区が立地的に優れているとの判断から、国道50号周辺地域の複数箇所を抽出した。さらに関係法令等を検討するとともに、地元農業者への影響を最小限に抑えることを最優先とし、比較検討を行った結果、県町・羽刈町地内を選定した。

問 朝倉・福富緑地は本市南部ににおける数少ない、大規模な運動公園である。限定したスポーツやレクリエーションだけではなく、多目的に利用できるよう整備してはどうか。

都市建設部長 当公園は、現在、さまざまなスポーツで多くの市民に利用されている。このような現状を踏まえ、多目的広場として整備を検討していききたい。



▲朝倉・福富緑地 (ソフトボール場)

西部地区に北関東自動車道スマートICの建設促進を！



柳 収一郎 議員

問 競馬場跡地の活用計画により、本市の経済活性化が期待される。活用計画決定前に、北関東自動車道スマートIC建設実現への早急な動きをすべきではないか。

都市建設部長 スマートICの建設には、事業費や工事の方法等多くの課題があるが、本市西部地区の利便性や足利赤十字病院への乗り入れなど、必要性はあると感じている。現在「栃木県スマートIC・追加IC整備促進協議会」において、県内4カ所の設置が要望されており、本市もその後に追加でエントリーできるように積極的に取り組んでいく。

問 競馬場跡地の芝生広場を利用する市民のために、敷地内にある太陽光パネルの下に休憩用の木製ベンチを設置すべきではないか。

政策推進部長 多くの市民や団体の利用もことから、五十部運動公園のベンチとの位置関係なども考慮し、今後検討していききたい。

問 市道今福町2号線今福橋交差点は、過去の死亡事故が発生しており、今後の競馬場跡地活用でさらに危険性が増すことが予想される。信号機の設置を早急にお願したい。

杉田 光 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・道の駅
- ・「映像のまち」構想
- ・企業誘致・新産業用地開発
- ・観光誘客
- ・スポーツ振興
- 教育行政について
- ・土曜授業

柳 収一郎 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・人口減少問題
- 当面する懸案事業について
- ・足利市「道の駅」構想
- ・市民会館建てかえの問題
- ・西部地区に北関東自動車道スマートICの建設促進
- 競馬場跡地関連事業について
- ・競馬場跡地の活用
- ・競馬場跡地周辺地域の道路改良等の状況
- ・競馬場跡地周辺地域の環境整備

